

本気の12月

季節は冬です。今の季節、樹木は葉も落ち、寒さの中でたたずんでいます。この樹木は、目にははっきりとはわかりませんが、冬の間には少しずつ確実に成長しているのです。年輪をひとつずつ増やしながらか、春に芽を出すために、寒さにじっと耐えて、地中からは栄養分を蓄（たくわ）え、成長させているのです。

これは、人間の世界も同じです。特に、皆さんのように、若いときには同じことが言えます。この冬は、学習のみならず、運動面や芸術・文化関係でも、心の面でも、力をつけ成長する時期です。

ただし、成長するという点で樹木と違うことがあります。人間は、何もしないでたたずんでいるだけでは成長しない、伸びないという点です。1・2年生は、部活動での各種大会も終了し、次年度に向かっていきます。3年生は、3学期に行われる自分の進路実現の機会に向けて日々努力を重ねています。

部活動でいうと、冬場のこの時期は、日も短くなり、練習時間も短くなります。ライバルチームの上をいき、目標を達成するには、短い時間の分をどこかで、何かで補（おぎな）っていかねばなりません。夏の大会で伸びてくるチームや個人は、陰ながら努力を積み重ねているものです。

来年の4月に、自分が今よりも一段上のステージにいるようにするためには、この12月から3月までに、いかに力をつけるかが大切なのです。どのくらい本気になれるかです。

「本気の12月」とは、この冬に、本気になって力をつけていくんだよ、本気にならなければ力はないよ、ということを表しています。冬、樹は育つ。これを別な言葉で言い換えれば、冬、人は育つ、となります。

12月は、1年の最後の月です。2022年、令和4年の最後を飾る月です。終わりよければすべてよし、という言葉もあります。ひと月なら本気になれるのでしょうか。

目標や計画だけでなく、本気のアクション、行動が重要です。自分の可能性を伸ばすために、いつ、何を、どのようにするのか、これをしっかり定めて、この冬に立ち向かってほしいと思います。

まずは、この12月を「本気の12月」にしていきましょう。そして、12月23日（金）の2学期最終日を笑顔で迎えらるるようにならなうしょう。